

平成 17 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 中央化学株式会社
 代表者名 代表取締役社長 渡辺浩二
 コード番号 7895
 問合せ先 管理本部長 永田 修
 TEL：(048)540-2624

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 16 年 12 月期(平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日)の業績予想について、平成 16 年 8 月 20 日に公表しました業績予想を下記の通り修正しますので、お知らせ致します。

記

1.平成 16 年 12 月期連結通期業績予想数値の修正(平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日) (単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 16 年 8 月 20 日発表)	82,000	1,500	600
今 回 修 正 予 想 (B)	82,751	1,234	483
増 減 額 (B - A)	751	266	117
増 減 率	0.9%	17.7%	19.5%
前 期 (平成 15 年 12 月 期)実績	78,404	911	6,873

2.平成 16 年 12 月期単独通期業績予想数値の修正(平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日) (単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 16 年 8 月 20 日発表)	71,500	1,000	500
今 回 修 正 予 想 (B)	71,058	1,329	668
増 減 額 (B - A)	442	329	168
増 減 率	0.6%	32.9%	33.6%
前 期 (平成 15 年 12 月 期)実績	69,544	329	5,462

3.修正の理由 (単独)

世界的な原油価格高騰のあおりを受け、当社原材料価格も3度にわたる値上攻勢に見舞われました。この未曾有のコストアップ要因を吸収すべく、社内合理化、物流の効率化、その他不採算製品の販売抑制等を強力に推し進めると共に、製品価格の是正にも取り組み、その結果、売上高は所期の目標をわずかに下回るものの、経常利益・当期利益は共に所期の目標を大きく上回る見込みとなりました。

(連結)

米国

旺盛な個人消費に支えられ売上高が順調に推移、前々期に実施した大型設備投資の効果も現れ収益力の回復が顕著となりましたが、一部製品価格是正の遅れと、需要増の対応に向けた人員体制・物流体制整備のための周辺コストが発生致しました。この結果、売上高は所期の目標をほぼ達成するものの、経常利益・当期利益は所期の目標を下回る見込みとなりました。

中国

当期も伸長率2桁台という順調な売上増加を背景に、半数の子会社が通期黒字（為替差損を除く経常利益ベース）を達成するなど、売上高・利益共に前年比で大幅に改善いたしました。これにより、売上高は所期の目標を達成するものの、急速に進む原材料価格高騰への対応の遅れや為替差損の発生等により、経常利益・当期利益は目標レベルには届かず、所期の目標を下回る見込みとなりました。

連結合計

上記の結果、連結売上高は所期の目標を上回り、営業利益もほぼ目標通りとなる見込みですが、円高による為替差損(連結ベース125百万円)の発生等もあり、経常利益・当期利益については、所期の目標をわずかに下回る見込みとなりました。

以 上